

2026 年 7 月 8 日

報道関係各位



南日本放送様において トータルシステムソリューション ignis の運用を開始

～柔軟な GUI 構築により、現場に即した運用と番組準備の効率化を実現～



株式会社南日本放送（以下、MBC）様にて、2026 年 6 月 1 日より新報道サブシステムの運用が開始されました。本システムは、2025 年 3 月に当社が報道サブ・制作サブシステムを一括受注した案件であり、当社のトータルシステムソリューション「ignis（イグニス）」を採用した次世代のサブシステムとなります。

MBC 様は、鹿児島県においてラジオ・テレビを兼営する唯一の民放局として、地域に密着したさまざまな情報を発信されています。ローカル局としては自社制作比率が高く、特に災害報道に注力されており、現場に即した運用と業務効率の向上を目指して、当社のトータルシステムソリューション「ignis」をご採用いただきました。

「ignis」は、システム全体を統合管理する「ignis mc」と、メディア信号処理を担う「ignis mp」で構成されています。なかでも、「ignis mc」は、ユーザー自身が GUI（操作画面）を柔軟にカスタマイズできる点が特長です。MBC 様の報道サブでは、運用担当者がニーズに応じて操作画面を柔軟に構築できるため、現場に即した高い運用性を実現しています。これにより、従来複雑であったオペレーションを大幅に簡素化し、直感的な番組準備が可能となりました。また、「ignis」の番組呼び出し機能の活用により、これまでいくつかの手順を踏んでいた番組準備をワンタッチで完了し、スタンバイミスも防ぐなど、業務効率の大幅な向上にも寄与しています。さら

に、本システムの導入により、ケーブル配線を約 9 割削減（当社比）するとともに、ラック本数を 6 本から 5 本へ、ハードウェアの操作パネルのボタン数も約 3 割強削減するなど、省スペース化と効率化も両立しています。

なお、制作サブシステムにつきましては、2026 年 12 月の運用開始を予定しています。

池上通信機は、今後も放送局の多様なニーズに寄り添い、映像制作の IP 化や最新技術の導入を進めるお客様に対して、多彩な放送システムソリューションを提案し、放送業務の高度化に貢献してまいります。

《ご案内》

株式会社南日本放送様についてはこちら

<https://www.mbc.co.jp/info/>

《主なシステム構成》

- ・トータルシステムソリューション [ignis](#)
システム統合管理ソフトウェア ignis mc
メディア信号処理ソフトウェアプラットフォーム ignis mp
- ・IP Media Gateway [IMR-200](#)
- ・HD ポータブルカメラシステム [HDK-X500](#)
- ・IP エクステンションユニット [IPX-100](#)

《お問い合わせ先》

● 池上通信機株式会社 営業・マーケティング本部 プロモーション室

Tel : 03-5748-2216 Fax : 03-5748-2200

E-Mail : smprm@ikegami.co.jp